

新公立豊岡病院組合改革プラン(2017)の概要

I 計画期間

平成 29 年度～令和 2 年度（4 ヶ年）

II 公立豊岡病院組合の病院・医療センターが担うべき役割

豊岡病院 許可病床 518 床 (512 床運用)	但馬地域の中核病院として高度専門・急性期医療を提供する。また、地域医療構想や患者動向を踏まえ回復期病棟を設置するとともに、適正な病床規模の検討を進める。
日高医療センター 許可病床 99 床 (63 床運用)	日高地区の地域医療を担うとともに、人工透析及び眼科医療を提供する。また、地域包括ケアシステムの医療拠点として各種訪問サービス（訪問看護・訪問リハビリ等）を提供する。
出石医療センター 許可病床 55 床 (39 床運用)	出石・但東地区で総合診療を中心に地域医療を支えるとともに、豊岡病院の後方支援を行う。豊岡病院組合での回復期機能を担い、地域包括ケア病床を活用した治療や支援を提供する。
朝来医療センター 許可病床 150 床	朝来市域の中核病院として、入院機能を提供するとともに救急医療の充実を図る。また地元開業医との連携を進め、地域完結型医療を提供する。

III 地域医療構想を踏まえた取り組み

1 病院・医療センターが担うべき役割

(1) 地域医療構想が示す医療需要の変化に対応するため、各病院の機能、役割、特性を踏まえた、組合内病院及び他医療機関との連携推進

2 組合内病院の連携推進に向けた取り組み

- (1) 組合内病院間の連携に係る課題に対して「医療監」による調整支援の推進
- (2) 「病院長会議」「事務長会議」の活用
- (3) 「看護戦略会議」の活用と看護師確保方策の実施
- (4) 職種別会議の活用
- (5) 医療安全対策の強化

3 地域医療機関の連携推進に向けた取り組み

- (1) 但馬圏域公立病院間の連携推進
- (2) MSW（医療ソーシャルワーカー）・退院調整看護師の適正配置による退院支援の強化
- (3) 広報・情報発信機能の強化

IV 経営効率化のための取り組み

目標：令和2年度の経常黒字達成と計画期間中の内部留保資金の確保

経常収支比率に係る目標設定

(年度)	H29	H30	R1	R2
豊岡病院	99.4%	98.1%	99.1%	100.5%
日高医療センター	87.0%	91.5%	91.8%	92.3%
出石医療センター	100.0%	101.6%	111.2%	110.8%
朝来医療センター	73.3%	86.9%	89.8%	92.9%
事業合計	95.2%	96.3%	97.8%	99.2%
※退職給付引当金除く	96.4%	97.6%	99.1%	100.5%

医業収支比率に係る目標設定

(年度)	H29	H30	R1	R2
豊岡病院	91.4%	90.1%	90.1%	89.3%
日高医療センター	81.2%	84.0%	84.2%	85.5%
出石医療センター	73.2%	74.0%	86.3%	86.3%
朝来医療センター	66.0%	73.8%	80.7%	83.8%
事業合計	86.8%	87.1%	88.3%	88.2%

内部留保資金に係る目標設定

(単位：百万円)

(年度)	H29	H30	R1	R2
事業合計	340	347	45	204

- 1 医師確保の取り組み
 - (1) 「医師育成・研修支援センター」の充実
 - (2) 新・専門医制度へ適切に対応
 - (3) 医師確保方策の充実

- 2 収益確保の取り組み
 - (1) 患者確保
 - (2) 診療単価の向上

- 3 費用抑制の取り組み
 - (1) 給与費比率の改善
 - (2) 材料費比率の抑制
 - (3) 経費比率の抑制
 - (4) 減価償却費比率の平準化

4 経営意識向上の取り組み

- (1) 経営危機意識の共有
- (2) 部署別行動計画・人事業務マネジメントの活用
- (3) 会計情報資料の分析・反映
- (4) 事務職員等の教育研修体系の強化

5 構成市一般会計繰入金の適切な確保

- (1) 但馬圏域に必要な医療を確保するための適正なルールに基づく繰入金の確保